

株式会社 一瀬製作所

平成27年度補正　ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

建材製作で6mのステンレス加工ができるレーザー加工機導入

事業の実施期間　平成28年6月28日～平成28年12月9日

事業計画名

手作業の職人技を超える多種多様で高精度な建材の試作開発

企業紹介

ステンレス建具の製作をメインとして多種多様な金属での建物の外装、内装材の製作を得意としています。単一オーダー品の製作が確立された生産管理体制で当社の匠達がお客様のニーズや納期に対応しています。

事業の取組内容

○事業の計画概要

当社の蓄積したノウハウと最新レーザー加工機を生かして、お客様の要請する”斬新なデザインや機能性のある製品”の試作開発を行う。また、加工データの一元管理により高度生産工場を達成する。

事業内容：最新モデル

○事業目的の概要

切欠加工は出来上がりの製品によって、その都度負荷が変わりボトルネック工程になりがちであり、一品製品を製作しているため「切断」「切欠」「曲げ」の各工程のバラツキを均一にするのが困難であった。今回のレーザー加工機の導入により、リアルタイムで稼働率を監視でき、既存の生産管理システムに連動させることで作業の山崩しができるようになり仕事の平準化、ボトルネックの解消に繋がると考えている。また顧客からの要望、①板厚の見えない綺麗な箱曲げ、②滑らかな仕上がり、③高精度な長尺建材の試作開発等を高精度な加工で対応したい。

○導入機械装置

①装置名：テーブル型レーザー加工機
用途：手作業に替わる切欠加工（箱型に曲げるための）
②装置名：LC2415A4NT
用途：長尺物の正確な切欠加工



導入したテーブル型レーザー加工機

この企業の「強み」

高品質、低価格な加工品を多品種少量生産により短納期で行います。特に特殊加工を得意とし、ステンレス加工では他社に負けない技術がある。

〇事業の成果

●生産効率の向上に関する成果

①すき間のない、綺麗で高品質な箱曲げが可能となり、所要時間が約２２%の短縮

②手加工による切欠ミスというリスクの軽減により、約４４%の時間短縮とロス率を低く抑える事に繋がった。

③高精度な長尺建材の試作開発により、所要時間が45%削減となった。



玄関先部分の大型金属建具

〇事業化に向けて想定している内容

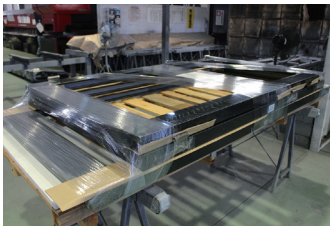
●2020東京五輪開催に向けて建築需要が高まっている中で、事業の成果が寄与すると想定している具体的なターゲットユーザーは既存の顧客（建築金物、建具メーカー）である。

このような状況下に、当社が取り組む事業化は

①大型レーザー加工機を所有することによる優位性を発揮して、短納期対応や高精度な切抜き加工等を進めていきたい。

②受注実績のないお客様に対して同じ業界内でまだ受注の無いお客様があり、レーザー加工機が出来ることを武器に切り込み、従来 の仕事の受注拡大につなげる。

③新規分野への参入。医療分野や福祉分野への参入を目指したい。



単一オーダー製のステンレス建具



業界では珍しい6m規模の
ステンレス加工が可能

Interview インタビュー
展望をお聞かせください！

代表取締役　**一瀬　勇樹**

当社が製作している製品は主に玄関周りの建材です。

特に都市圏の大型商業施設、高層マンションやオフィスビルなどに使われる建具や化粧金物であり「ビルの顔」「街の顔」となっています。ステンレス製の建材は重厚感と高級感があり、近未来の街づくりに貢献しています。

今回導入したレーザー加工機は5巾で６mの薄板板金の切断加工を可能にします。

業界でもこのサイズを保有する企業は希少であり、新たな受注に繋がると期待しています。

また、2020年の東京オリンピック関連の仕事もおかげさまで獲得できましたので、今後予定される2025年に開催が決定した「大阪・関西万博」関連の受注も期待しつつ、当社が持つ加工技術の提案等を行い、レーザー加工機の更なる稼働率の向上を図りたいと考えています。

その一方で、小さな物でも付加価値の高いレーザー加工製品の開発も考案中です。



金属製品製造業

株式会社 一瀬製作所

鳥取工場／〒684-0017　鳥取県境港市西工業団地50-1　Tel.0859-44-7379
（本社／大阪府門真市四宮6丁目2番23号）

一瀬製作所　http://www.ichi.co.jp

